

たじみん昼話 21

学習活動には段階がある

「たくさん学習しているのに、なかなか成績が伸びないです」と、よく相談を受けます。どんな学習をしているか訊くと、大半の人が、「とにかく暗記しています」と答えます。中には、教科書の端から端まで覚えて、「学校の定期テストは良いけど模試がだめです」という人もいます。努力は凄いのになぜ結果に繋がらないのでしょうか。

そもそも私たち教員は、「あの生徒、頑張って暗記力がついたなー」とは言いません。「学力が付いたなー」と言います。つまり学習单元など学習の本質が身についたことで学力が付いたと判断しているのです。この真の学力が、模擬試験の成績に反映しそれを安定させるのです。内容を暗記することは必要です。でも、それに $+ \alpha$ をしてこそ、本当の学習をしたと言えるのです。

学習活動にはいろいろな段階があります。この各段階を経るごとに学びは深まっていき、真の学力に到達できます。今自分がやっている学習はどの段階にあるのか。今一度振り返って、今後の学習方法の改善に取り組んでみてください。

- ①記憶する
- ②単語や名前をあげる
- ③文章を理解する
- ④別の言葉で言い換える
- ⑤記述してみる
- ⑥考えの中心になっている論理を理解する
- ⑦他のことと関連づける
- ⑧他の人に説明する
- ⑨身近な現象や問題に適用してみる
- ⑩根本原理と関連づけてみる
- ⑪こうなるのでは、と仮説を立ててみる
- ⑫まったく関係なさそうな、離れた問題に適用してみる
- ⑬①から⑫までを振り返ってみる

